

	院政期文化 (貴族層が民衆文化を受容、独自の地方文化が発展)	鎌倉文化 (公武二元文化、禅宗文化の影響)	南北朝文化
建築	<p>[阿弥陀堂] (阿弥陀堂建築の地方普及)</p> <p>中尊寺金色堂 (陸奥国平泉に藤原清衡が建立)</p> <p>富貴寺大堂 (豊後国(大分県))</p> <p>白水阿弥陀堂 (陸奥国(福島県))</p> <p>三仏寺投入堂 (伯耆国(鳥取県))</p>	<p>東大寺南大門=大仏様(天竺様)</p> <p>★光源(俊乗坊)の指導・陳和卿(宋の工人)の協力</p> <p>円覚寺舍利殿=禅宗様(唐様)</p> <p>蓮華王院本堂=和様</p> <p>観心寺金堂 =折衷様(新和様)</p>	<p>[康派(奈良仏師)の彫刻(鎌倉文化)]</p> <p>東大寺南大門金剛力士像 (運慶・快慶ら)</p> <p>東大寺僧形八幡神像 (快慶)</p> <p>興福寺無著像・世親像 (運慶ら)</p> <p>興福寺天灯鬼像・竜灯鬼像 (康弁ら)</p> <p>六波羅蜜寺空也上人像 (康勝)</p>
絵画	<p>[装飾経] (経典に特別な装飾をほどこしたもの)</p> <p>『扇面古写経』(大和絵の上に経文を墨書)</p> <p>『平家納経』(平清盛が厳島神社に奉納)</p> <p>★厳島神社参詣のために戸戸瀬戸(安芸国)を開削</p> <p>[絵巻物] (絵画と文書を交互に記したもの)</p> <p>『源氏物語絵巻』(『源氏物語』が題材)</p> <p>★藤原隆能が引目鉤鼻・吹抜屋台の手法で描く</p> <p>『伴大納言絵巻』(応天門の変(866)が題材)</p> <p>『鳥獣戯画』(動物を擬人化して世相を風刺)</p> <p>『信貴山縁起絵巻』(僧命蓮に関する奇跡談)</p>	<p>[似絵] (写実的な大和絵の肖像画)</p> <p>藤原隆信(父)『源頼朝像・平重盛像』</p> <p>藤原信実(子)『後鳥羽上皇像』</p> <p>[頂相] (禅宗で師から与えられる師の肖像画)</p> <p>[絵巻物] (絵画と文書を交互に記したもの)</p> <p>『北野天神縁起絵巻』(菅原道真の生涯を描く)</p> <p>『春日権現験記』(建築現場の様子を描く)</p> <p>『一遍上人絵伝』(備前国福岡市の様子)</p> <p>『蒙古襲来絵巻』(肥後の御家人竹崎季長)</p> <p>『男衾三郎絵巻』(武蔵国の武士の生活)</p>	<p>[水墨画] (禅の精神を墨の濃淡で描く)</p> <p>黙庵『布袋図』</p> <p>可翁『寒山図』</p> <p>- [工芸(鎌倉文化)] -</p> <p>① 刀工=粟田口吉光 (京都) 長船長光 (備前) 岡崎正宗 (鎌倉)</p> <p>② 甲冑=明珍 (京都の甲冑製作の名家)</p> <p>③ 陶器=加藤藤正 (尾張の瀬戸焼の祖?)</p>
文学	<p>[軍記物語]</p> <p>『将門記』(平将門の乱が題材)</p> <p>『陸奥話記』(前九年の役が題材)</p> <p>[歴史物語]</p> <p>『栄花(華)物語』(道長の栄華を賛美し記述)</p> <p>★赤染衛門(女流歌人)の作といわれる</p> <p>『大鏡』(道長の栄華を批判的に記述) → 『今鏡』 → 『水鏡』 → 『増鏡』(公家の立場から記述した歴史物語)</p> <p>[説話文学]</p> <p>『今昔物語集』(源隆国が著したとされる?) 本朝・天竺・震旦の3国から成る仏教等説話集</p>	<p>[軍記物語]</p> <p>『平家物語』(琵琶法師の平曲で庶民に流行)</p> <p>『源平盛衰記』(平家物語を増補したもの)</p> <p>[歴史書・歴史物語]</p> <p>『吾妻鏡』(鎌倉幕府の記録を編年体で記述)</p> <p>『愚管抄』(慈円(天台座主)の道理による歴史書)</p> <p>[説話文学]</p> <p>『古今著聞集』(橘成季が著した古今の説話集)</p> <p>『沙石集』(無住が著した庶民的な仏教説話集)</p> <p>[私設図書館]</p> <p>金沢文庫 (北条実時が設立した私設図書館)</p>	<p>[軍記物語]</p> <p>『太平記』(南北朝の動乱が題材)</p> <p>★南朝に同情的な記述が多い</p> <p>[歴史書・歴史物語]</p> <p>『神皇正統記』(南朝の正統性)</p> <p>『梅松論』(北朝の正統性)</p> <p>[日記・随筆(鎌倉文化)]</p> <p>『玉葉』(九条兼実(摂政・関白)の日記)</p> <p>『十六夜日記』(阿仏尼の京都~鎌倉の日記)</p> <p>『方丈記』(鴨長明の随筆)</p> <p>『徒然草』(吉田兼好の随筆)</p>
詩歌	<p>(八代集の編纂)</p>	<p>[勅撰和歌集]</p> <p>→『新古今和歌集』(八代集の最後) 後鳥羽上皇の命で藤原定家・家隆らが編纂</p> <p>[私撰和歌集]</p> <p>『金槐和歌集』(源実朝)</p> <p>『山家集』(西行)</p>	<p>[連歌] (上の句と下の句を交互に読み合わせる)</p> <p>二条良基</p> <p>『菟玖波集』(最初の連歌集→準勅撰となる)</p> <p>『応安新式』(連歌の規則書)</p>
学問	<p>[有職書] (朝廷の儀式・年中行事などを記す) → [有職故実] (朝廷の儀式や年中行事を研究) → [有職故実] (朝廷の儀式や年中行事を研究)</p> <p>源高明『西宮記』(国風文化)</p> <p>藤原公任『北山抄』(国風文化)</p> <p>大江匡房『江家次第』(院政期文化)</p>	<p>順徳天皇『禁秘抄』</p> <p>[古典研究]</p> <p>卜部兼方『积日本紀』(日本書紀の注釈書)</p>	<p>後醍醐天皇『建武年中行事』</p> <p>北畠親房『職原抄』</p>
芸能	<p>→[猿楽] (滑稽を主とした雑芸) → 芸として専門的に演じる者が登場 → [猿楽能] (大和猿楽四座=観世座(もと結崎座)・金春座・宝生座・金剛座)</p> <p>→[田楽] (田植祭りの際の歌舞) → 演劇(能)としての仕組みを整える → [田楽能] (田楽の要素を取り入れる)</p>		
	<p>[今様] (貴族も愛好した現代歌謡)</p> <p>[催馬楽] (貴族も愛好した古代歌謡)</p> <p>後白河法皇『梁塵秘抄』(歌謡を集成)</p>	<p>[茶道(茶の湯)]</p> <p>抹茶の伝来(栄西が宋から伝える)</p>	<p>→[茶道(茶の湯)]</p> <p>茶寄合(多人数で開かれた娯楽的な茶会)</p> <p>闘茶(茶の種類や産地を飲みあてる競技)</p>

	北山文化 (公家文化を基礎に武家文化が発展, 禅宗文化の影響)	東山文化 (伝統的な日本文化の形成, 中央文化の地方普及)	桃山文化 (新興武家などの豪壮・華麗な文化, 南蛮文化の影響)
建築	鹿苑寺金閣 (足利義満が京都北山山荘に建立)	慈照寺銀閣 (足利義政が京都東山山荘に建立) 慈照寺東求堂同仁齋 (書院造の義政の書齋) 慈照寺庭園 (山水河原者(作庭師)の善阿弥の作) [枯山水] (岩石で滝, 砂利で水を表現した庭園) 龍安寺石庭・大徳寺大仙院庭園	[城郭] (天守閣を持つ本丸を中心とする建築) 大坂城 (豊臣秀吉が1583年に築城) 聚楽第 (秀吉晩年の邸宅兼城郭→後陽成天皇行幸) 伏見城 (秀吉晩年の邸宅兼城郭→江戸時代に破却) 姫路城 (池田輝政が1609年に改築した平山城)
絵画	[水墨画] (禅の精神を墨の濃淡で描く) 明兆 → 如拙 → 周文 → 『瓢鮎図』 「狩野派系図」 正信—元信—○—永徳—○—探幽 (狩野派始祖) 長信—○—山楽(弟子) 『花下遊楽図屏風』	[水墨画] (禅の精神を墨の濃淡で描く) 雪舟 (日本の水墨山水画を大成) 『四季山水図巻(山水長巻)』 『秋冬山水図』・『天橋立図』 [大和絵] (日本風絵画の総称) 土佐派=土佐光信 (大和絵の主流) 狩野派 (水墨画に大和絵の手法を取り入れる) 狩野正信(父) 『周茂叔愛蓮図』 狩野元信(子) 『大仙院花鳥図』	[障壁画] (屏風・障子・襖などに描かれた絵画) 濃絵 (金碧に青・緑などの濃彩で描いた障壁画) 狩野永徳 (狩野元信の孫) 『唐獅子図屏風』・『槍図屏風』 『洛中洛外図屏風』 (信長が上杉謙信に贈る) 狩野山楽 『牡丹図』・『松鷹図』 長谷川等伯 (雪舟5代を自称) 『智積院襖絵』・『松林図屏風』 海北友松 『山水図屏風』 [南蛮屏風] (南蛮人の風俗を狩野派が描く)
文学	[軍記物語] 『難太平記』 (今川貞世(了俊)) ★北朝の立場から『太平記』中の誤りを訂正 [五山文学] (五山の僧による漢文学・漢詩文) →五山版 (五山の僧によって出版された書籍) 義堂周信 (南禅寺の五山文学僧) 絶海中津 (相国寺の五山文学僧)	[御伽草子] (室町時代の庶民的な短編物語) ex. 『浦島太郎』・『一寸法師』 『物くさ太郎』・『酒吞童子』 [教育] 足利学校 (上杉憲実が再興した学校施設) ★ザビエルから「坂東の大学」と称される 儒学普及 桂庵玄樹 (薩南学派の祖) (地方伝播) 南村梅軒 (海南学派の祖) 庶民教育 『庭訓往来』 (庶民教科書) 『節用集』 (国語辞典)	(江戸時代の仮名草子に大きな影響を与える) [活字印刷術] ①活字印刷術(ヨーロッパ式) ★ヴァリナーニが伝えた銅活字の印刷術 →天草(キリシタン)版 (『イス』会の出版物) 『どちりな=きりしたん』 『天草版平家物語』 ②活字印刷術(朝鮮式) ★朝鮮出兵で伝えられた木活字の印刷術 →慶長勅版 (後陽成天皇の命で出版)
詩歌		→[連歌] (上の句と下の句を交互に読み合わせる) 宗祇 (正風連歌を確立) 『新撰菟玖波集』 (準勅撰の連歌集) 『水無瀬三吟百韻』 (宗祇・肖柏・宗長) [俳諧連歌] (連歌から生じた五・七・五の短詩) 山崎宗鑑 『犬筑波集』 (俳諧連歌集)	
学問	謡曲 (能の脚本→観阿弥・世阿弥の作が多い) 狂言 (風刺性の強い喜劇でしばしば上演停止)	→[有職故実] (朝廷の儀式や年中行事を研究) 一条兼良 『公事根源』 (有職故実書) [古今伝授] (古今和歌集に関する秘事を口伝) 東常縁 → 宗祇 → 三条西実隆	一条兼良 (子は興福寺の僧尋尊) 『花鳥余情』 (源氏物語の注釈書) 『樵談治要』 (足利義尚の諮問に答える)
芸能	[猿楽能] (観阿弥(父)・世阿弥(子)が大成) 『風姿花伝(花伝書)』 (世阿弥の能楽書) 『申楽談儀』 (世阿弥の秘伝を二男元能が筆録)	[小歌] (庶民に広く流行した民間歌謡) 『閑吟集』 (1518年に成立した小歌集) [幸若舞] (桃井直詮が創始→織田信長も愛好) →[茶道(茶の湯)] 一休宗純 (大徳寺の僧) から 禅の精神を学んで取り入れる 村田珠光 → 武野紹鷗 → 千利休(宗易) (堺の豪商出身→茶庵を指導) (詫び茶を創始) (詫び茶を簡素化) (詫び茶を大成) ex. 妙喜庵待庵 (千利休の茶室)	[隆達節] (高三隆達が節付けした小歌) [人形浄瑠璃] (浄瑠璃節+人形操り+三味線) [阿国歌舞伎] (出雲阿国が創始した踊り)

	文化 (貴族層が民衆文化を受容, 独自の地方文化が発展)	文化 (公武二元文化, 禪宗文化の影響)	文化
建築	<p>〔阿弥陀堂〕(阿弥陀堂建築の地方普及)</p> <p>_____ (国 に _____ が建立)</p> <p>_____ (国 (県))</p> <p>_____ (陸奥国 (県))</p> <p>_____ (伯耆国 (県))</p>	<p>寺 = _____ (_____)</p> <p>★ (俊乗坊)の指導・ _____ (宋の工人)の協力</p> <p>寺 = _____ (_____)</p> <p>蓮華王院本堂 = _____</p> <p>観心寺金堂 = _____ (新和様)</p>	<p>〔<u>奈良仏師の彫刻(鎌倉文化)</u>〕</p> <p>寺 _____ (. . . ら)</p> <p>寺僧形八幡神像 (_____)</p> <p>寺無著像・世親像 (_____ ら)</p> <p>寺天灯鬼像・竜灯鬼像 (_____ ら)</p> <p>寺空也上人像 (_____)</p>
絵画	<p>〔 _____ 〕(経典に特別な装飾をほどこしたもの)</p> <p>『 _____ 』(大和絵の上に経文を墨書)</p> <p>『 _____ 』(_____ が 神社に奉納)</p> <p>★ 厳島神社参詣のために _____ (国)を開削</p> <p>〔絵巻物〕(絵画と文書を交互に記したもの)</p> <p>『 _____ 』(『源氏物語』が題材)</p> <p>★ _____ が引目鉤鼻・吹抜屋台の手法で描く</p> <p>『 _____ 』(_____ ()が題材)</p> <p>『 _____ 』(動物を擬人化して世相を風刺)</p> <p>『 _____ 』(僧 _____ に関する奇跡談)</p>	<p>〔 _____ 〕(写実的な大和絵の肖像画)</p> <p>_____ (父)『源頼朝像・平重盛像』</p> <p>_____ (子)『後鳥羽上皇像』</p> <p>〔 _____ 〕(禪宗で師から与えられる師の肖像画)</p> <p>〔絵巻物〕(絵画と文書を交互に記したもの)</p> <p>『 _____ 』(_____ の生涯を描く)</p> <p>『 _____ 』(建築現場の様子を描く)</p> <p>『 _____ 』(国福岡市の様子)</p> <p>『 _____ 』(国 _____ の御家人 _____)</p> <p>『 _____ 』(武蔵国の武士の生活)</p>	<p>〔 _____ (禅の精神を墨の濃淡で描く)〕</p> <p>_____ 『布袋図』</p> <p>_____ 『寒山図』</p> <p>〔<u>工芸(鎌倉文化)</u>〕</p> <p>① 刀工 = _____ (京都)</p> <p>_____ (備前)</p> <p>_____ (鎌倉)</p> <p>② 甲冑 = _____ (京都の甲冑製作の名家)</p> <p>③ 陶器 = _____ (尾張の _____ の祖?)</p>
文学	<p>〔軍記物語〕</p> <p>『 _____ 』(平将門の乱が題材)</p> <p>『 _____ 』(前九年の役が題材)</p> <p>〔歴史物語〕</p> <p>『 _____ 』(道長の栄華を賛美し記述)</p> <p>★ _____ (女流歌人)の作といわれる</p> <p>『 _____ 』(道長の栄華を批判的に記述)</p> <p>〔説話文学〕</p> <p>『 _____ 』(_____ が著したとされる?)</p> <p>本朝・天竺・震旦の3国から成る仏教等説話集</p>	<p>〔軍記物語〕</p> <p>『 _____ 』(_____ の _____ で庶民に流行)</p> <p>『 _____ 』(平家物語を増補したもの)</p> <p>〔歴史書・歴史物語〕</p> <p>『 _____ 』(鎌倉幕府の記録を編年体で記述)</p> <p>『 _____ 』(_____ (_____)の _____ による歴史書)</p> <p>〔説話文学〕</p> <p>『 _____ 』(_____ が著した古今の説話集)</p> <p>『 _____ 』(_____ が著した庶民的な仏教説話集)</p> <p>〔私設図書館〕</p> <p>_____ (_____ が設立した私設図書館)</p>	<p>〔軍記物語〕</p> <p>『 _____ 』(南北朝の動乱が題材)</p> <p>★ 南朝に同情的な記述が多い</p> <p>〔歴史書・歴史物語〕</p> <p>『 _____ 』(南朝の正統性)</p> <p>『 _____ 』(北朝の正統性)</p> <p>『 _____ 』(公家の立場から記述した歴史物語)</p> <p>〔<u>日記・随筆(鎌倉文化)</u>〕</p> <p>『 _____ 』(_____ (撰政・関白)の日記)</p> <p>『 _____ 』(_____ の京都へ鎌倉の日記)</p> <p>『 _____ 』(_____ の随筆)</p> <p>『 _____ 』(_____ の随筆)</p>
詩歌	<p>(八代集の編纂)</p>	<p>〔勅撰和歌集〕</p> <p>『 _____ 』(八代集の最後)</p> <p>_____ 上皇の命で _____ らが編纂</p> <p>〔私撰和歌集〕</p> <p>『 _____ 』(_____)</p> <p>『 _____ 』(_____)</p>	<p>〔<u>連歌</u>〕(上の句と下の句を交互に読み合わせる)</p> <p>_____</p> <p>『 _____ 』(最初の連歌集→準勅撰となる)</p> <p>『 _____ 』(連歌の規則書)</p>
学問	<p>〔有職書〕(朝廷の儀式・年中行事などを記す) →</p> <p>_____ 『 _____ 』(国風文化)</p> <p>_____ 『 _____ 』(国風文化)</p> <p>_____ 『 _____ 』(院政期文化)</p>	<p>〔 _____ 〕(朝廷の儀式や年中行事を研究) →</p> <p>_____ 天皇 『 _____ 』</p> <p>〔古典研究〕</p> <p>_____ 『 _____ 』(日本書紀の注釈書)</p>	<p>_____ 『 _____ 』(朝廷の儀式や年中行事を研究) →</p> <p>_____ 天皇 『 _____ 』</p> <p>_____ 『 _____ 』</p>
芸能	<p>→ [_____] (滑稽を主とした雑芸) →</p> <p>→ [_____] (田植祭りの際の歌舞) →</p> <p>芸として専門的に演じる者が登場</p> <p>→ 演劇()としての仕組みを整える</p> <p>_____ 『 _____ 』(歌謡を集成)</p>	<p>→ [_____] (大和猿楽四座 = _____ 座(もと _____ 座)・ _____ 座・ _____ 座・ _____ 座)</p> <p>→ [_____] (田楽の要素を取り入れる)</p> <p>_____ 『 _____ 』(歌謡を集成)</p> <p>〔茶道(茶の湯)〕</p> <p>抹茶の伝来 (_____ が宋から伝える)</p>	<p>→ [_____] (大和猿楽四座 = _____ 座(もと _____ 座)・ _____ 座・ _____ 座・ _____ 座)</p> <p>→ [_____] (田楽の要素を取り入れる)</p> <p>_____ 『 _____ 』(歌謡を集成)</p> <p>→ [茶道(茶の湯)]</p> <p>_____ (多人数で開かれた娯楽的な茶会)</p> <p>_____ (茶の種類や産地を飲みあてる競技)</p>

	文化 (公家文化を基礎に武家文化が発展、禅宗文化の影響)	文化 (伝統的な日本文化の形成、中央文化の地方普及)	文化 (新興武家などの豪壮・華麗な文化、南蛮文化の影響)
建築	金閣 (_____ が京都北山山荘に建立)	銀閣 (_____ が京都東山山荘に建立) 慈照寺 (_____ の義政の書斎) 慈照寺庭園 (_____ (作庭師)の _____ の作) [_____] (岩石で滝、砂利で水を表した庭園) 龍安寺石庭・大徳寺大仙院庭園	[_____] (_____ を持つ _____ を中心とする建築) 城 (豊臣秀吉が1583年に築城) _____ (秀吉晩年の邸宅兼城郭→後陽成天皇行幸) 城 (秀吉晩年の邸宅兼城郭→江戸時代に破却) 城 (_____ が1609年に改築した平山城)
絵画	[水墨画(禅の精神を墨の濃淡で描く)] _____ → _____ → _____ 『 _____ 』 <狩野派系図> (狩野派始祖) — ○ — [_____] — ○ — _____ (弟子) 『花下遊楽図屏風』	[水墨画(禅の精神を墨の濃淡で描く)] _____ (日本の水墨山水画を大成) 『 _____ (_____) 』 『秋冬山水図』・『天橋立図』 [大和絵](日本風絵画の総称) 派 = _____ (大和絵の主流) 派(水墨画に大和絵の手法を取り入れる) _____ (父)『周茂叔愛蓮図』 _____ (子)『 _____ 』	[_____] (屏風・障子・襖などに描かれた絵画) _____ (金碧に青・緑などの濃彩で描いた障壁画) _____ (狩野元信の孫) 『 _____ 』・『檜図屏風』 『 _____ 』 (信長が上杉謙信に贈る) _____ 『牡丹図』・『松鷹図』 _____ (雪舟5代を自称) 『智積院襖絵』・『松林図屏風』 _____ 『山水図屏風』 [_____] (南蛮人の風俗を狩野派が描く)
文学	[軍記物語] 『 _____ 』 (_____ (_____)) ★北朝の立場から『太平記』中の誤りを訂正 [_____] (五山の僧による漢文学・漢詩文) → _____ (五山の僧によって出版された書籍) _____ (南禅寺の五山文学僧) _____ (相国寺の五山文学僧)	[_____] (室町時代の庶民的な短編物語) ex. 『浦島太郎』・『一寸法師』 『物くさ太郎』・『酒呑童子』 [教育] _____ (_____ が再興した学校施設) ★ _____ から「坂東の大学」と称される 儒学普及 _____ (薩南学派の祖) (地方伝播) _____ (海南学派の祖) 庶民教育 『 _____ 』(庶民教科書) 『 _____ 』(国語辞典)	(江戸時代の仮名草子に大きな影響を与える) [活字印刷術] ①活字印刷術(ヨーロッパ式) ★ _____ が伝えた銅活字の印刷術 ↳ _____ (イェスの出版物) 『 _____ 』 『天草版 _____ 』 ②活字印刷術(朝鮮式) ★朝鮮出兵で伝えられた木活字の印刷術 ↳ _____ (_____ 天皇の命で出版)
詩歌	→ [連歌] (上の句と下の句を交互に読み合わせる) _____ (正風連歌を確立) 『 _____ 』(準勅撰の連歌集) 『 _____ 』(_____ ・ _____ ・ _____) [_____] (連歌から生じた五・七・五の短詩) _____ 『 _____ 』(俳諧連歌集)		
学問	→ [_____] (朝廷の儀式や年中行事を研究) (能の脚本→観阿弥・世阿弥の作が多い) (風刺性の強い喜劇でしばしば上演停止)	_____ 『 _____ 』(有職故実書) [_____] (古今和歌集に関する秘事を口伝) _____ → _____ → _____	_____ (子は _____ 寺の僧) 『 _____ 』(源氏物語の注釈書) 『 _____ 』(_____ の詰問に答える)
芸能	[_____] (_____ (父)・ _____ (子)が大成) 『 _____ (_____) 』(世阿弥の能楽書) 『 _____ 』(世阿弥の秘伝を二男元能が筆録)	[_____] (庶民に広く流行した民間歌謡) → [_____] (_____ が節付けした小歌) 『 _____ 』(1518年に成立した小歌集) [_____] (浄瑠璃節+人形操り+三味線) [_____] (桃井直詮が創始→織田信長も愛好) [_____] (_____ が創始した踊り)	→ [_____] (_____ の豪商出身→ _____ を指導) (_____ を大成) ex. _____ (千利休の茶室)
	→ [茶道(茶の湯)] (_____ 寺の僧) から 禅の精神を学んで取り入れる	_____ (_____ を創始) → _____ (侘び茶を簡素化)	

[F] 院政期文化②



〔源氏物語絵巻〕



〔鳥獸戯画〕



〔信貴山縁起絵巻〕

[G] 鎌倉文化



〔東大寺南大門〕



〔円覚寺舎利殿〕



〔東大寺南大門金剛力士像〕



〔興福寺天灯鬼・竜灯鬼〕 〔六波羅蜜寺空也上人像〕



〔蓮華王院本堂〕



〔観心寺金堂〕



〔踊念仏〕



〔一遍上人絵伝〕



〔北野天神縁起絵巻〕



〔春日権現験記〕



〔蒙古襲来絵詞〕



〔男衾三郎絵巻〕



〔(伝)源頼朝像〕

[H] 室町文化



〔鹿苑寺金閣〕



〔慈照寺銀閣〕



〔慈照寺東求堂同仁齋〕



〔龍安寺石庭〕



〔瓢鮎図〕



〔四季山水図巻(山水長巻)〕



〔秋冬山水図〕



〔大仙院花鳥図〕



〔田楽〕



〔能の興行風景〕

[I] 桃山文化



〔姫路城〕



〔唐獅子図屏風〕



〔智積院襖絵〕



〔南蛮屏風〕

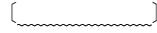


〔阿国歌舞伎〕

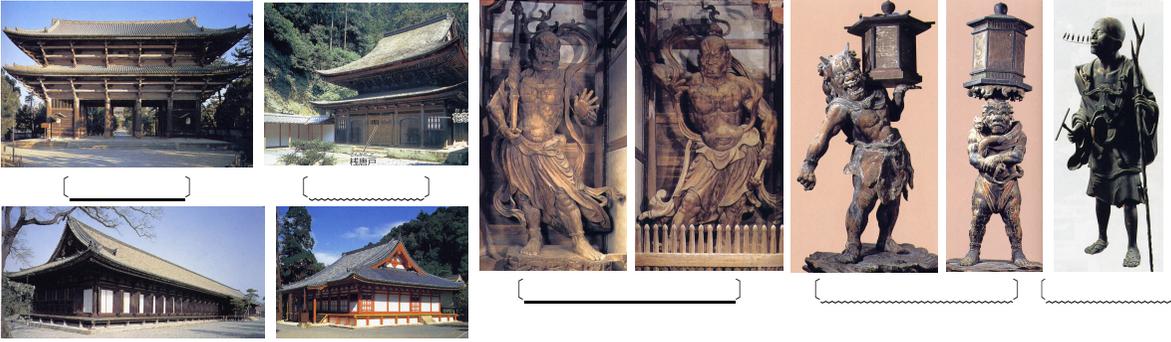


〔天草版平家物語〕

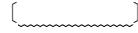
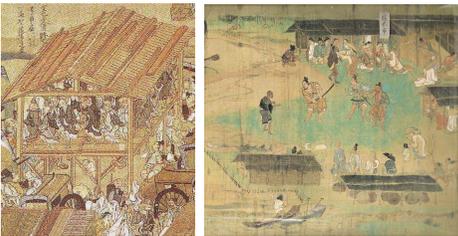
[F] 院政期文化②



[G] 鎌倉文化



〔観心寺金堂〕



〔伝〕源頼朝像〕

[H] 室町文化



〔龍安寺石庭〕



〔 〕

〔の興行風景〕

[I] 桃山文化



〔姫路城〕

